



社会福祉法人こうほうえん
新砂ライフ
【75号】

2022年
8月

SDGs への取り組み



最近、テレビや街中でもよく目にする「SDGs」の文字。SDGs とは？
 まずは職員が園内で学びを深め、私たちも普段の保育の中で、できる事から始めることにしました。今月号では、各クラスの取り組みの様子をご紹介します。

ひよこ組（0歳児クラス） 陸の豊かさを守ろう

ひよこ組では、子どもたちがのびのびと戸外であそべるような環境を作っていきたいと思い
 ゴミ拾いを始めました。戸外活動中でもゴミを見つけたらいつでも拾えるように、散歩リュックの中にビニール袋、手袋、ミニトングを常備しています！



トイレのベンチ（144本分） 靴下入れ（9本分） お茶入れ（4本分）

りす組（2歳児クラス）

りす組ではペーパータオルの節約に取り組んでいます。手洗いは丁寧に水を切り、紙は一枚で拭けるように意識しています。



あひる組（1歳児クラス）

保育園では1日15本の牛乳パックがゴミになっています。
 それはもったいない、何とかしよう！と考え、いろいろな物をつくってみました。その一部をご紹介します。



うさぎ組（3歳児クラス）

西日が当たるうさぎ組は、ゴーヤを栽培して「グリーンカーテン」作りに挑戦！冷房の温度を下げ過ぎず、エネルギーの節電に努めます。「黄色の花が咲いてる！」「ちいさいゴーヤがあるよ～」とゴーヤの成長の変化に気づき嬉しそうに眺めている姿もみられます。

くま組（4歳児クラス）

くま組はペットボトルをリサイクルして、マラカスを作りました。飲み終わるとゴミ箱へ捨ててしまうペットボトル・・・ビーズや鈴をいれたり、周りにテープを貼ったりして、自分だけのオリジナルマラカスをつくりました。
 お神輿の練り歩きでは完成したマラカスを振って元気にぞう組さんを応援していましたよ！！



トイレトーパーの芯を再利用して花火のスタンプを作りました。

ぞう組（5歳児クラス）

「SDGs ってなあに？」みんなで一緒に絵本を読みながら考えてみました。お家の方の話やテレビでも聞いたことのある子が多く「知ってるよ！未来をつくること」「地球を大事にすること」とたくさんの声が上がりました。その為に何をすると聞いてみると首をかしげて難しい表情も見られましたが、絵本を通して「食べ物や紙を無駄にしない」「ティッシュやペーパータオルは一枚だけ使う」と子どもたちなりに理解している様子でした。



子どもたちの未来のために・・・

今後もできる事を増やしなが、子どもたちと楽しく取り組んでいきたいと思ひます。

7月23日 夏まつり【しんすな夏フェス2022】

今年度は3部制に分けて開催し、各部短時間ではありましたが、久しぶりに親子で参加していただくことが出来ました。下の写真は新企画「しんすな劇場」 「SDGsコーナー」の様子です。共に大盛況でした！！



職員劇
「大きなかぶ」

しんすな劇場



リサイクルコーナー

各クラスの取り
組みをご紹介します

SDGs コーナ



ワッショイ
ワッショイ

前日は5歳児が自分たちで作ったお神輿を担ぎ、3・4歳児と一緒に順天堂ひろばからあゆみ橋までを練り歩きました。

夏本番！！
水遊び・泥んこ遊び
プール遊び



クローバーだより



～ 子育て支援 「ほかほかひろば」からご案内 ～



8・9月の予定

毎日暑い日が続いています。
引き続きコロナ対策は必要ですが、夏は熱中症や脱水症状にも注意が必要です。
9月は保育体験の他に、離乳食講座やおもちゃ作りなど、色々な催しを行います。是非遊びに来てください！！

8月18日 水遊びをたのしもう！（園庭開放）

※雨天又は気温が低い場合は中止になります

8月22日 親子で保育体験

9月8日 管理栄養士による離乳食講座（試食会）

これから離乳食を始める方、毎日の離乳食でお悩み方は是非ご参加ください。

9月13日 親子で保育体験

9月22日 手作りおもちゃを作って遊ぼう

（要予約）新砂保育園 03-5677-1332
TEL受付時間 月～金 9:00～17:00



ご不明な点がございましたら、お気軽にご連絡ください！！

Q&A



Q 下痢について

もともと赤ちゃんの便は緩めのことが多いのですが、急に回数が増えて次第に水っぽくなっていくときは下痢と考えていいでしょう。嘔吐を伴う場合は脱水症になりやすいので注意が必要です。

要点

ケアのポイント！！

★どんな下痢便なのかチェックする

便の色やにおい、出血の有無をチェック。たとえ下痢でも出血が無く元気なら様子を見てかまいません。

★脱水症状が出ていないか観察を

- ①唇や口、目のまわりなどがカサカサに乾いている
- ②おなかがペチャンコになって張りが無い
- ③おしっこが長時間でいていない
- ④ぐったりしている

このような症状がみられたら、水分が取れていても急いで病院へ

★頻りに少量ずつ水分を与える

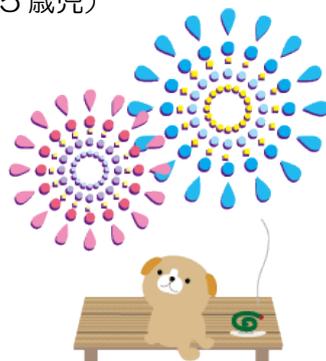
基本的には子どもが好むものでかまいませんが、水分と塩分を同時にとれる小児用のイオン飲料がおすすめ。果汁は控えます。

～お医者さんにかかるまでに～

これから1ヶ月の行事カレンダー

8月 22日(月) おはなし会(2・3歳児)
23日(火) 誕生会
26日(金) 夕涼み会(5歳児)

9月 1日(金) プール終い
12日(月) おはなし会(4・5歳児)
15日(木) 敬老会 ※介護施設交流
16日(金) 敬老の日の集い→中止
22日(木) 誕生会
26日(月) おはなし会(2・3歳児)



「新砂ライフ」 社会福祉法人 こうほうえん 通信 第75号 2022年 8月

発行=新砂こうほうえん 〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-11 (代表 TEL 03-5677-1331)

1階・2階 保育園 (TEL 03-5677-1332) 病後児保育室おひさま (TEL 03-5677-1725)

3階 多機能ホーム新砂 (TEL 03-5677-1333)

3階 シルバーステイ (TEL 03-5677-1337) 4階 グループホーム新砂(TEL 03-5677-1336)

～ 2022年度 こうほうえん スローガン ～

日々の気づきで未来を創る

笑顔と使命の二刀流

地域とともにSDGs

目くばり 気くばり 心くばり



社会福祉法人 こうほうえん

今回、私たちは、ご利用者に暑さを払っていただく『暑気払い会』を開催いたしました。

昼食に鰻御膳を準備し、ノンアルコールビールやサワー片手に乾杯!! 「このお酒は何?ちょっと飲んでみようかしら♪」という発言や「まさか鰻が食べられると思わなかった!」と喜んで下さる方もおり、いつも以上に皆さんの食欲が増している印象でした。おやつタイムは、昭和のジャズ喫茶のBGMを流しながら、それぞれの時間を過ごして頂きました。手作りスイーツに舌鼓、皆さんの顔はほころび、お話に花をさかせていました。



職員お手製のスイーツ！！

はい! かんぱーい♪



今年の夏は
鰻パワーで
乗り切れそ



ちょっと雑学

江戸時代から、土用の時期（立春、立夏、立秋、立冬の直前の18日間）は季節の変わり目で、体調を崩しやすいため、この時期の丑の日に、春は「い」、夏は「う」、秋は「た」、冬は「ひ」の付く食べ物をとるとよい（土用の食い養生）とされ、夏の土用の丑の日に鰻を食べるようになったとか。夏の鰻そのものは、万葉集の伴家持の歌に「石麻呂に 吾もの申す 夏瘦せに よしといふものぞ 鰻とり食せ」とあり、昔から食べていたようです。

シルバーステイ(緊急ショートステイ)より・・・

猛暑が続いていますが皆様いかがお過ごしでしょうか?シルバーステイは8月も通常営業しております。

さて今回は、入所に関してよくある問い合わせをいくつか解説したいと思います。介護保険のサービスとは異なる為、ご存知ない方もいると思います。利用を検討している方の参考になれば幸いです。

Q1. 1週間以上泊まれるの?

A. 緊急ショートステイなので基本**最大7日間**までの利用と決まっています。しかし1週間以上の長期利用を希望される方が多くおられます。相談内容に応じて延長を許可する場合がありますが、始めから1週間以上の利用を希望される方は、他の施設を探していただく必要があります。介護認定を受けておらず他に受け入れ先が見つからない場合や、虐待を受けている方の保護を目的とする場合は例外です。

Q2. 申し込みはいつからできるの?

A. 申し込みは**1週間前**から電話で行います。ケアマネ、ご家族等どなたでも可能です。申請理由が冠婚葬祭、介護者の入院、住宅改修の場合に限り1か月前から申し込みが可能となります。それ以外の理由で早めに申し込みしたいという方がよくいますが、1週間前からでないといけませんのでご理解ください。

シルバーステイのご利用者の作品です。押し花が趣味で、ご自宅で作ってきて下さいました。いつもありがとうございます☆





7月のご様子

暑い日が続いているなか、幸いにもご利用様は体調を崩すことなく元気に毎日をご過ごされています。コロナ禍で外出もままならないですが、テラスで夏野菜を育て収穫したり、季節の初物を頂いたり、少しでも身体を動かし体力を維持する為に皆で集まり体操や風船バレーにも励んでいます。



グループホーム新砂の取り組み

グループホーム新砂では職員の研修や地域との交流を大切にしています。

7月は砂町訪問看護ステーションに「看取り研修」をお願いし実施しました。ご本人が主役に安全安楽で、その方らしくのベストを考え支える視点を学びました。



また、地域との交流も大切にしています。ボランティアの方と一緒にお菓子を作ったり(中村様によるホロホロクッキー)、旬の食材で美味しい料理を提供していただくなど(クックデリ様による揚げたて天ぷら)、外部の方と交流することによって、社会との繋がりを継続していけるよう取り組んでいます。



江東区主催：「小学生のための認知症サポーター養成講座」

7/27(水)江東区文化センターにたくさんの親子が参加し、江東区と江東区グループホーム・小規模多機能連絡会で講座の開催がおこなわれました。新砂も連絡会の会員としてお手伝いをさせていただきました。「認知症の人とどう接すれば良いか分かった…」「年寄にすごく優しくしてあげたい…」「認知症をもっと知りたいと思った」などの感想が子どもたちから寄せられました。地域へ向け認知症の正しい理解や、認知症の方、そのご家族をサポートする取り組みをこれからも継続していくので、皆様のご協力、参加をお待ちしております。